

介護ステーション ぶらんち ニュースレター Vol. 110

令和8年2月号

熱量が大事、と思うこの頃……

慌ただしく始まった「総選挙」が終わりました。
自民党の圧勝でしたが、
圧勝＝責任、ですから、
今後の有言実行を見守っていきたい、ですね。
また、冬のオリンピックが始まっています。
あの舞台に立てる、は
どれだけの挫折を乗り越え、どれだけの努力を重ね、
どれだけの応援・支援をいただいた、その結果。
大舞台で結果を残せるかどうか、は、また別物。
そこには、ストレスをどう調理して、
本番をどう自身で味わえるか。
いつも、最近思うのは、
選挙しかり、オリンピックの方々の言葉の熱量が凄い！こと。
インタビューアーが、マイナスな言葉を引き出そうとしても、
自身の言葉で、自身の熱量を発している。
やっぱり、「言霊」ってある、と感じる日々です。
今年はスタートから世の中が、熱量に満ちている感じがしていますので、
弊社はもちろん、私自身も自身の熱量を大事にして、
日々の仕事に挑戦していきたい、と考えています。



介護業界を盛り上げよう！！

去年より提案していた下記2点が
2026年度の予算に盛り込まれるらしい……

1:港区高齢者通院支援サービスの報酬見直し
港区在住の介護保険制度を利用していらっしゃる方の
通院について、港区が助成する制度。
行きと帰りは介護保険を利用し、
院内の待ち時間等、付き添う場合、その時間の費用
を港区が助成してくれます。
これって、他区では自費が多い中、港区オリジナルの
素晴らしい制度です。
ただ、弊社が港区でお仕事させていただいて約12年、
報酬改定がありません。
最低賃金もアップしていることから、
そろそろ報酬見直しをしていただかないと、
対応していけなくなる、と提案。
どうやら、見直しをしてくれるようです。

2:社宅借り上げ制度
東京都で借り上げ制度という補助金があります。
施設では入居者の数によって、
補助する社宅数が決まっています。
在宅は1事業所について4件まで、となっています。
その4件という数字の決め方に違和感をもっており、
1事業所でも抱えている利用者様の数が違うのだから、
抱えている利用者様数によって数を決めて欲しい。
東京都だけでなく、港区オリジナルとして補助制度を
考えてみたら、と提案しました。検討してくれるようです。

ぶらんちの今を紹介

今、ぶらんちの仕組み作りをしています。
報酬が劇的にアップはしない分野ですので、
どうしたら、現場スタッフが現場に集中し、
しなくてはいけない事務系・書類整備を
どうしていくか。

今までは、現場スタッフがある程度、
事務系・書類整備も担ってきましたが、
それは、SDGsの観点からも
持続可能な仕組みだろうか？と。

この3月末に長年、港区で訪問介護事業を
してきた某事業所が廃止、になります。

ここは、持続可能にしていけるために、
現場と事務系・整備系は分けて
仕組み作りが必要な時期にきている。

現場は現場の暗黙の了解があるもの。
それを出来る限り、見える化にすることで、
属人的さが取り除け、
「チームぶらんち」一体感が生まれると
信じています。